

會計検査院

機式並ニ其ノ提出及推問ニ對スル答辯ノ期限ヲ定ム
第十九條 會計検査院ハ各官廳ヲシテ検査上必要ナル簿書及報告ヲ提出セシメ及主任官吏ノ聲明書ヲ求ムルコトヲ得
會計検査院長ハ検査上必要ト認ムルトキハ主任官吏ヲ派遣シ實地検査ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ本部長官ニ通知シ該長官ハ主任官吏ヲシテ検査ニ立會フ爲サシムルコトヲ得
第二十條 會計検査院ハ出納官吏ノ計算書及證據書類ヲ検査シ正當ナリト判決シタルトキハ該官ニ對シ認可狀ヲ付シ其ノ責任ヲ解除ス若必要ナル場合ニ於テハ之ヲ推問シ辯明又ハ正誤ヲ爲サシメ仍正當ナラスト判決シタルトキハ本部長官ニ移牒シテ處分ヲ爲サシム
第二十一條 會計検査院ノ判決ニ據リ辨償ノ責ヲ負フ者ハ天皇ノ赦恩ニ由ルノ外本部長官之ヲ減免スルコトヲ得ス
第二十二條 出納官吏計算書及證據書類ノ提出ヲ怠リ又ハ様式ヲ守ラサルトキハ會計検査院ハ本部長官ニ移牒シテ懲戒處分ヲ要求スルコトヲ得
第二十三條 政府ノ機密費ニ關ル計算ハ會計検査院ニ於テ検査ヲ行フ限ニ在ラス
第二十四條 會計検査院ハ認可狀ヲ付スルノ後ト雖其ノ付シタル日ヨリ五箇年以内ニ於テハ出納官吏ヨリ之ヲ請求スルカ又ハ計算書ノ謬誤脱漏ニ重記載アルコトヲ發見シタルトキハ再審ヲ爲スコトヲ得但シ詐偽ノ證據ヲ發見シタルトキハ五箇年後ト雖再審ヲ爲スコトヲ得

出納官吏ハ會計検査院再審ノ判決ニ對シテ再ヒ審判ヲ請求スルコトヲ得ス
會計検査院事務章程 明治三十二年四月十七號(抄)
第一條 會計検査院ニ第一部第二部ヲ設ケ各部ニ課ヲ置キ検査ノ事務ヲ分掌セシム
第二條 會計検査院ニ院長官房ヲ置ク
第三條 會計検査院ノ會議ハ會計検査官ヲ以テ組織ス
第四條 會計検査院ノ開キ部會議ハ部長之ヲ開キ
第五條 總會議ハ會計検査官現員ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得
第六條 會計検査官前項ノ數ニ滿タサルトキハ總會議ニ於テハ二名部會議ニ於テハ一名ヲ限リ副検査官ヲ以テ補充スルコトヲ得
第七條 總會議及部會議ハ會計検査官、委員又ハ副検査官ノ提出シタル文書ヲ以テ議案トス
第八條 會計検査官總會議又ハ部會議ノ議決ヲ要スル事件ニ付議案ヲ提出セムトスルトキハ其ノ案ヲ具ヘ理由ヲ附シ總會議ノ議決ヲ要スルモノハ院長ニ部會議ノ議決ヲ要スルモノハ部長ニ之ヲ提出スヘシ
委員ヲ設ケタル場合ニ於テ其ノ委員ヨリ提出スル議案ニ付テ亦同シ
第九條 會計検査官ハ父子兄弟ノ提出シタル計算書ヲ検査シ又ハ其ノ檢定者ハ判決ニ與ルコトヲ得ス
第十條 院長ハ所部ノ職員ヲ統督シ委任官ノ

進退ハ内閣總理大臣ヲ經テ之ヲ上奏シ判任官以下ハ自ら之ヲ行フ
第九條 院長ハ内閣總理大臣ヲ經テ所部職員ノ敘位敘勳ヲ上奏シ又ハ増減賞與ヲ行フ
第十條 院長ハ會計検査院全般ニ關スル事務又ハ臨時ノ事務ヲ處理セシムル爲メ會計検査院高等官中ヨリ委員ヲ設ケルコトヲ得
第十一條 左ノ事項ハ院長ノ職權ニ屬ス
一、各部ノ分課ヲ定ムルコト
二、各部課主管ノ事務及職員ノ配置ヲ定ムルコト
三、各部ヨリ提出スル文書ニシテ總會議又ハ部會議ノ議決ヲ要セサルモノヲ處分スルコト
四、副検査官ニ總會議出席ヲ命スルコト
五、所部ノ職員ニ出張ヲ命スルコト
六、議事ニ關シ細則ヲ定ムルコト
七、部會議ノ議決スヘキ事項ヲ定ムルコト
八、行務監督規程及其ノ他ノ行政事務ニ關スル諸規程ヲ定ムルコト
第十二條 院長ハ各部ヨリ提出スル文書ニ付主任部長及検査官ノ同意ヲ得テ其ノ主意ヲ變更スルコトヲ得若其ノ同意ヲ得サルトキハ之ヲ總會議ニ付スヘシ
總會議又ハ部會議ノ議決ヲ經タル文書ト雖其ノ主意ヲ變更セサル限リ院長ハ文章ノ訂正ヲ爲スコトヲ得
第十三條 院長ハ總會議ノ議決ヲ不當ト認ムルトキハ其ノ執行ヲ停止シ議決ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ再議ニ付スヘシ
再議ノ議決ニ對シテハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得
第十四條 會計検査院ハ必要アルトキハ

會計検査院

其ノ執行ヲ停止シ其ノ議決書ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ總會議ニ付スヘシ
第十四條 院長ハ各部ヨリ提出スル文書ニシテ總會議又ハ部會議ノ議決ヲ要セサルモノニ付再調査ヲ爲サシムルコトヲ得
第十五條 左ノ事項ハ部長ノ職權ニ屬ス
一、其ノ名ヲ以テ審理書ヲ發スルコト
二、副検査官ニ部會議出席ヲ命スルコト
三、部員ヲシテ其ノ部主管ノ事務ニ付一時相互ニ幫助セシムルコト
四、部員ノ行務ヲ監督シ院長ニ報告スルコト
第十六條 部長ハ各課ヨリ提出スル文書ヲ審查シ其ノ總會議若ハ部會議ノ議決ヲ要セサルモノ又ハ院長ニ提出スルヲ要セサルモノハ直ニ之ヲ處分スヘシ
其ノ部會議ニ付シタルモノハ總テ之ヲ院長ニ提出スヘシ
第十七條 部長ハ各課ヨリ提出スル文書ニ付主任検査官ノ同意ヲ得テ其ノ主意ヲ變更スルコトヲ得若其ノ同意ヲ得サルトキハ之ヲ部會議ニ付シ又ハ之ヲ總會議ニ提出スヘシ
部會議ノ議決ヲ經タル文書ト雖其ノ主意ヲ變更セサル限リ部長ハ文章ヲ訂正スルコトヲ得
第十八條 部長ハ部會議ノ議決ヲ不當ト認ムルトキハ其ノ執行ヲ停止シ議決ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ總會議ニ提出スヘシ
第十九條 部長ハ各課ヨリ提出スル文書ニシテ總會議又ハ部會議ノ議決ヲ要セサルモノニ付再調査ヲ爲サシムルコトヲ得
第二十條 検査官ハ各課ノ長トナリ課務ヲ掌

第二十一條 検査官ハ検査ノ執行ニ因リ檢定判決、審理等ニ關スル文書ヲ調製シ之ヲ部長ニ提出ス
第二十二條 副検査官ハ各課ニ分屬シ課長ヲ助ケ又ハ院長官房若ハ各部ニ分屬シ審議立案ヲ掌ル
第二十三條 副検査官ハ検査ノ事項ニ關シ意見アル場合ニ於テ總會議又ハ部會議ニ議案ヲ提出セムトスルトキハ院長又ハ當該部長ノ承認ヲ經ヘシ
第二十四條 書記官ハ院長官房ニ屬シ庶務ヲ掌ル
第二十五條 書記官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ検査ノ事務又ハ庶務ニ従事ス
技手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ速記ノ事務ニ従事ス
第二十六條 會計検査院ハ行務年度ヲ定メ檢査ノ事務ヲ執行ス
第二十七條 會計検査院ハ検査ノ事項ニ付當該官吏ニ對シテハ審理書ヲ發シ國務大臣ニ對シテハ質問書又ハ注意書ヲ發スルコトヲ得
第二十八條 會計検査院ハ出納官吏ノ計算正當ナリト判決シタルトキハ本部長官ヲ經由シテ認可狀ヲ交付シ正當ナラスト判決シタルトキハ本部長官ニ對シ處分要求書ヲ發スヘシ
會計検査院ハ出納官吏其ノ負擔スヘキ缺損金ノ辨償ヲ終ヘタルトキハ本部長官ヲ經由シテ認可狀ヲ交付スヘシ
第二十九條 會計検査院ハ國ノ代表者ニ於テ出納官吏ニ對スル公訴附帶ノ私訴ヲ提起シタル事項ニ關シテハ之ニ對スル通常又ハ特

別裁判所ノ判決執行ノ結果ニ依リ其ノ検査判決ヲ行フヘシ
第三十條 會計検査院ハ第二十八條ノ處分要求書ニ對スル本部長官ノ處分ヲ以テ適當ナラスト認ムルトキハ其ノ事由ヲ検査成績書ニ載セテ上奏スヘシ
第三十一條 會計検査院ハ出納官吏ニ對シ再審ヲ行フ場合ニ於テハ前ニ該件ノ検査ヲ擔當セザリシ他ノ部ニ移シテ審査セシムヘシ
第三十二條 會計検査院ハ出納官吏ノ請求ニ因リ再審ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ本部長官ニ通知スヘシ
會計検査院ハ再審ヲ行フ場合ニ於テハ本部長官ヲ經由シテ其ノ旨ヲ當該出納官吏ニ通知スヘシ
第三十三條 會計検査院ハ左ノ場合ニ於テ本部長官ヲシテ直ニ報告ヲ爲サシムルコトヲ得
一、出納官吏其ノ保管スル現金ヲ亡失シタルトキ
二、各省大臣出納官吏ニ對シ辨償ヲ命シタルトキ
三、出納官吏ニ對スル公訴ニ附帶シテ國ノ代表者私訴ヲ提起シタルトキ
第三十三條ノ二、會計検査院ハ必要ニ應ジテ技術顧問員ヲ置クコトヲ得
技術顧問員ハ院長之ヲ囑託ス院長ノ命ニ依リ技術ニ關スル事項ヲ調査シ意見ヲ開陳ス
第三十四條 會計検査院ハ各地方官廳ヲシテ其ノ地ノ物價ヲ定期又ハ臨時ニ報告セシムルコトヲ得
第三十五條 會計検査院ハ必要アルトキハ檢

會計検査院

查事項ニ關スル資料ノ調査ヲ關係官廳ニ囑
託スルコトヲ得

會計検査官資格 明治二十二年六月
會計検査院法第六條ニ依リ會計検査官ハ左ノ
資格ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス
一、年齢満三十歳以上ノ者
二、五箇年以上高等行政官若クハ判事檢事
副検査官ノ職ニ在ル者及在リタル者但
試補勤務年數ハ之ヲ算ス

會計検査官退官ニ關スル件 明治二十
九年五月
法律第九(抄)

第一條 會計検査官身體若ハ精神ノ衰弱ニ因
リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ
ハ之ニ退官ヲ命スルコトヲ得
第二條 退官ハ會計検査官會議ノ決議ニ依リ
之ヲ決定ス
第三條 會計検査官會議ハ會計検査院長ヲ以
テ議長トシ院長ニ對スル退官ノ申立アルト
キハ會計検査院部長中上席者ヲ以テ議長ト
ス
議長事故アルトキハ會計検査院部長中上席
者之ヲ代理ス
第四條 會計検査官會議ハ現員三分ノ二以上
出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス
會計検査官會議ノ決議ハ過半数ニ依ル可
同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
第五條 會計検査院部長及検査官ニ對スル退
官申立ハ會計検査院長之ヲ爲シ院長ニ對シ
テハ部長會議ノ上之ヲ爲ス
第六條 會計検査官第一條ニ依リ退官ヲ命セ

ラレタルトキハ官吏恩給法ニ於テ同法第二
條ニ掲クル事項ニ該リタル者ト同視ス
會計検査院勅任検査官、書記及技
手定員 明治四十三年三月
一、會計検査院勅任検査官、書記及技手、定員
左ノ通定ム
一、勅任検査官 三人
二、書記及技手 通シテ百六十五人
院長 從一、勅一、法律博士 田尻稻次郎
小倉富四六

院長官房

書記官

文官普通試驗委
員文官普通懲戒
委員官報報告及
統計主任正次郎
副検査官武藤榮治郎

書記
一、正七、勅七、佐藤謙三郎
二、正七、勅七、竹内勝太郎
三、正七、勅七、大橋榮次郎
四、正七、勅七、小林 惠祐
五、正七、勅七、大塚 庄助
六、正七、勅七、沼田喜雨太郎
七、正七、勅七、金坂正次郎
八、正七、勅七、豊作 大
九、正七、勅七、秋山 豊作
十、正七、勅七、柴田 惠成
十一、正七、勅七、石井 大輔
十二、正七、勅七、大輔

技手(兼)
一、正七、勅七、石井 大輔
二、正七、勅七、大輔
三、正七、勅七、石井 大輔
四、正七、勅七、大輔
五、正七、勅七、石井 大輔
六、正七、勅七、大輔
七、正七、勅七、石井 大輔
八、正七、勅七、大輔
九、正七、勅七、石井 大輔
十、正七、勅七、大輔
十一、正七、勅七、石井 大輔
十二、正七、勅七、大輔

第一部

文官普通
懲戒委員濱 弘一
部長(第一級)
正三、勅一
○第一課(國庫、國債、大藏省所管、遞信省
所管)
検査官(第一級)
課長 從五、勅五、平野 權藏
副検査官 從六、勅六、清原德次郎
從六、勅六、大樽 益藏
從六、勅六、大樽 益藏
從六、勅六、大樽 益藏

第二課

文官普通試驗委
員文官普通懲戒
委員官報報告及
統計主任正次郎
副検査官武藤榮治郎

書記
一、從七、勅八、田邊鈴太郎
二、正七、勅六、及川 頼母
三、正七、勅七、堀越市太郎
四、正七、勅六、松波 季強
五、正七、勅八、常川元次郎
六、正七、勅八、福島 定安
七、正七、勅八、秋山 豊作
八、正七、勅七、山邊 彦二
九、正七、勅七、林 種利
十、正七、勅七、下島 俊一
十一、正七、勅七、山邊 彦二
十二、正七、勅七、林 種利
十三、正七、勅七、下島 俊一

○第二課(租稅、專賣局、内國稅徵收費
検査官(第三級)
課長 從五、勅五、今泉國太郎
副検査官 從六、勅六、泉 英斌
從六、勅六、酒井 孝三

副検査官

正六、勅五、法律博士 工藤 重義
本郷、勅八、三、に四
兼務
一、正七、勅七、東原善太郎
二、正七、勅七、龍澤清次郎
三、正七、勅七、角田吉太郎
四、正七、勅七、江里口貞夫
五、正七、勅七、松元 助二
六、正七、勅七、鹽田 光司
七、正七、勅七、木田 州又
八、正七、勅七、石井 繁美
九、正七、勅七、田中 末雄
十、正七、勅七、森 乙象

武藤榮治郎
從七、佐久間格次郎
田邊千穂也
小川 眞陽
馬渡 驍
山本清太郎
山本清太郎
下木場小次郎
永利 秀隆
森 乙象

○第三課(司法省所管、文部省所管、農商務
省所管)
検査官(第二級)
課長 文官普通懲戒
委員正五、勅四
副検査官 田中 浪江
從六、勅六、武藤榮治郎
從六、勅六、川要四郎
從六、勅六、川要四郎
從六、勅六、川要四郎

書記
一、從七、勅八、尾崎嘉太郎
二、正七、勅七、久雄
三、正七、勅七、山本久太郎
四、正七、勅七、山本久太郎
五、正七、勅七、山本久太郎
六、正七、勅七、山本久太郎
七、正七、勅七、山本久太郎
八、正七、勅七、山本久太郎
九、正七、勅七、山本久太郎
十、正七、勅七、山本久太郎

○第二部
部長(第一級)
文官普通試驗
委員官報報告及
統計主任正次郎
副検査官武藤榮治郎

書記
一、正七、勅七、志波小次郎
二、正七、勅七、岡崎嘉之助
三、正七、勅七、下村 充義
四、正七、勅七、中島 鐵也
五、正七、勅七、福間 義明
六、正七、勅七、井手 靜太
七、正七、勅七、井手 靜太
八、正七、勅七、井手 靜太
九、正七、勅七、井手 靜太
十、正七、勅七、井手 靜太

○第四課(鐵道院)
検査官(第四級)
課長 正六、勅六、井上綾太郎
副検査官 川添 久重
從六、勅六、川添 久重
從六、勅六、川添 久重

書記
一、正七、勅七、志波小次郎
二、正七、勅七、岡崎嘉之助
三、正七、勅七、下村 充義
四、正七、勅七、中島 鐵也
五、正七、勅七、福間 義明
六、正七、勅七、井手 靜太
七、正七、勅七、井手 靜太
八、正七、勅七、井手 靜太
九、正七、勅七、井手 靜太
十、正七、勅七、井手 靜太

○第一課(陸軍省所管)
検査官(第二級)
課長 文官普通試驗委
員文官普通懲戒
委員正五、勅三
副検査官 川添 久重
書記官小菅 如淵
從六、勅六、塘 才二郎
從六、勅六、塘 才二郎
從六、勅六、塘 才二郎

書記
一、正七、勅六、細谷 四郎
二、正七、勅七、西村源之助
三、正七、勅七、西村源之助
四、正七、勅七、西村源之助
五、正七、勅七、西村源之助
六、正七、勅七、西村源之助
七、正七、勅七、西村源之助
八、正七、勅七、西村源之助
九、正七、勅七、西村源之助
十、正七、勅七、西村源之助

○第二課(海軍省所管、外務省所管、南滿洲
鐵道株式會社)
検査官(第二級)
課長 正五、勅五、河野 秀男
副検査官 從六、勅六、河野 秀男
從六、勅六、河野 秀男

書記
一、正七、勅八、尾崎嘉太郎
二、正七、勅七、久雄
三、正七、勅七、山本久太郎
四、正七、勅七、山本久太郎
五、正七、勅七、山本久太郎
六、正七、勅七、山本久太郎
七、正七、勅七、山本久太郎
八、正七、勅七、山本久太郎
九、正七、勅七、山本久太郎
十、正七、勅七、山本久太郎

會計検査院

副検査官

四等二級

從五、勳四 伊藤 乙亮

兼務

牛、市谷甲員、四一

書記

木村 精一

一 正七、勳七 田村 乙吉

勳七 酒井 一孝

二 從七、勳八 椎谷 榮作

勳七 古澤 惟彰

兼務 河野 通彦

勳八 天木 太郎

五 勳七 清野 四朗

勳八 高島 彌三

七 勳八 福岡 新一

勳八 吉澤 米藏

（月三） 勳八 山崎 厚二

（月三） 關 林造

（月三） 勳八 關野 周治

（月三） 手島 汪

（月二） 鹽田 龜藏

（月二） 龜藏

第三課（内務省所管）

検査官

從五、勳五 小栗盛太郎

副検査官

從五、勳四 川添 久重

書記

正七 岡 正路

一 正七、勳七 安藤 四郎

正七、勳七 井見 芳次郎

二 從七、勳七 大島 達吉

從七、勳七 横山 慶朝

三 從七、勳七 米谷 留太郎

原 常太郎

四 平城 慈門

蛇口 他太郎

五 吉村 長次郎

德永 政一

六 大場 治三郎

渡邊 信治

（月三） 白木 勉

（月三） 金子 家滿

（月三） 增岡 金平

（月三） 增岡 金平

第四課（朝鮮總督府、臺灣總督府）

検査官三等三級

從五、勳五 榮三郎

課長

赤、青山南、四二二

副検査官

從六、勳六 大澤 清高

兼務

從六、勳六 中村 藤兵衛

書記

從六、勳六 岡 正路

兼務

從六、勳六 市川 要四郎

書記

二 正七、勳七 市山 好忠

兼務

從七、勳八 福富 勇藏

書記

從七、勳七 伊藤 善三郎

兼務

從七、勳七 關口 健

書記

從七、勳七 桑名 才藏

兼務

從七、勳七 渡邊 秀雄

書記

從七、勳七 山岡 徹次

兼務

從七、勳七 島野 覺郎

書記

從七、勳七 恩田 松造

兼務

從七、勳七 村上 太七

書記

從七、勳七 白井 真行

行政裁判所 麹町區

行政裁判法 明治二十三年六月 抄

行政裁判所組織

一 行政裁判所ハ之ヲ東京ニ置ク

二 行政裁判所ニ長官一人及評定官ヲ置ク評定官ノ員數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

三 行政裁判所ニ書記ヲ置ク其員數及職務ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

四 長官ハ親任トス評定官ハ勅任又ハ奏任トス

五 長官及評定官ハ三十歳以上ニシテ五年以上高等行政官ノ職ヲ奉シタル者若クハ裁判官ノ職ヲ奉シタル者ヨリ任命セララル、モノトス

六 書記ハ長官之ヲ聘任ス

七 長官及評定官ハ在職中左ノ諸件ヲ爲スコトヲ得ス

一、公然政事ニ關係スルコト

二、政黨ノ黨員又ハ政社ノ社員トナリ又ハ衆議院議員 府縣郡市町村會ノ議員若クハ參事會員タルコト

三、兼官ノ場合ヲ除ク外俸給アル又ハ金錢ノ利益ヲ目的トスル公務ニ就クコト

四、商業ヲ營ミ其他行政上ノ命令ヲ以テ禁シタル業務ヲ營ムコト

一第六條ノ場合ヲ除ク外長官及評定官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルニ非サレハ其意ニ反シテ退官轉官又ハ「非職」ヲ命セララルコトナシ

行政裁判所

行政裁判所ノ長官又ハ評定官ヲ兼任スル者

ハ其本官在職中前項ヲ適用ス

懲戒處分ノ法ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一 長官及評定官身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ内閣總理大臣ハ行政裁判所ノ總會ノ決議ニ依リ其退職ヲ上奏スルコトヲ得（第六條）

一 長官ハ行政裁判所ノ事務ヲ總理ス

二 長官及評定官ハ評定官中官等最モ高キ者之ヲ代理ス官等同シキハ任官ノ順序ニ依リ其先ナル者之ヲ代理ス（第七條第二項）

三 長官ハ自ら裁判長トナリ若クハ評定官ニ裁判長ヲ命スルコトヲ得

四 部ヲ分ツノ必要アルトキハ其組織及事務分配ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ（第八條第二項）

一 行政裁判所ノ裁判ハ裁判長及評定官ヲ併セ五人以上ノ列席會議ヲ要ス但列席ノ人員ハ奇數ニ限ル若シ缺席ノ爲メ偶數トナリタルトキハ官等最モ低キ評定官ヲ議決ヨリ除ク官等同シキトキハ任官ノ順序ニ依リ其後ナル者ヲ除ク

二 議決ハ過半數ニ依ル

三 長官又ハ評定官ハ左ノ場合ニ於テ評議及議決ニ加ハルコトヲ得ス

一、裁判スヘキ事件自己又ハ父母兄弟姊妹若クハ妻子ノ身上ニ關スルトキ

二、裁判スヘキ事件一私人ノ資格ヲ以テ意見ヲ述ヘタルモノ又ハ理事者代理者若クハ職務外ノ地位ニ於テ取扱ヒタルモノニ關スルトキ

三、裁判スヘキ事件行政官タルノ資格ヲ以テ其事件ノ處分又ハ裁決ニ參與シタル

モノニ關スルトキ

一 前條ノ場合ニ於テ原告又ハ被告ハ原因ヲ疏明シテ文書又ハ口頭ヲ以テ長官又ハ評定官ヲ忌避スルコトヲ得

二 前項ノ場合ニ於テ行政裁判所ハ本人ヲ回避セシメ之ヲ議決ス

三 忌避若クハ除斥ノ原因タル事情ニ付キ長官又ハ評定官ヨリ申出アルトキ又ハ他ノ事由ヨリシテ長官又ハ評定官法律ニ依リ評議及決議ニ加ハルヲ得サルノ疑アルトキハ行政裁判所ハ本人ヲ回避セシメ之ヲ議決ス

一 行政裁判所ノ處務規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二 行政訴訟ノ辯護人タルコトヲ得ルハ行政裁判所ノ認許シタル辯護士ニ限ル

一 行政裁判所ハ法律勅令ニ依リ行政裁判所ニ出訴ヲ許シタル事件ヲ審判ス

二 行政裁判所ハ損害賠償ノ訴訟ヲ受理セス

三 行政訴訟ハ法律勅令ニ特別ノ規程アルモノヲ除ク外地方上級行政廳ニ訴願シ其裁決ヲ經タル後ニ非サレハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

一 各省大臣ノ處分又ハ内閣直轄官廳又ハ地方上級行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

二 各省又ハ内閣ニ訴願ヲ爲シタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

三 行政裁判所ノ判決ハ其事件ニ付キ關係ノ行政廳ヲ羈束ス

四 行政裁判所ノ裁判ニ對シテハ再審ヲ求ムルコトヲ得

行政裁判所

一三三二六

行政裁判所ハ其權限ニ關シテハ自ラ之ヲ決定ス
 行政裁判所ト通常裁判所又ハ特別裁判所トノ間ニ起ル權限ノ爭議ハ權限裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス(第二十條第二項)
 行政裁判所ノ判決ノ執行ハ通常裁判所ニ囑託スルコトヲ得
 第二十條第二項ノ權限爭議ハ權限裁判所ヲ設クル迄ノ間樞密院ニ於テ之ヲ裁定ス
 裁定ノ手續ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

行政裁判所令

大正二年六月勅(抄)

行政裁判所ニ三部ヲ置ク
 行政裁判所長官ハ各部ニ屬スヘキ事務ノ分配ヲ定ム
 一部ニ部長ヲ置ク
 長官ハ一部ノ部長ト爲ル
 他ノ部長ハ勅任官タル行政裁判所評定官ノ中ヨリ之ヲ命ス
 一部長ハ裁判長ト爲リ部ノ事務ヲ監督シ其ノ分配ヲ定ム
 一長官ハ部長及評定官ノ部屬ヲ定ム
 一部長故障アルトキハ其ノ部ノ評定官行政裁判法第七條第二項ノ順序ニ依リ之ヲ代理ス(第五條第一項)
 評定官故障アル場合ニ於テ之ヲ代理スヘキ者ハ長官隨時之ヲ定ム
 一部長ハ一事件毎ニ審判準備ノ爲メ其ノ部ノ評定官ニ專理ヲ命スルコトヲ得
 專理評定官ハ口頭審問ヲ爲ス前及合議ノ際部長及他ノ評定官ニ對シ訴訟ノ事實證據及爭點ニ付説明ヲ爲スヘシ

一判決ハ審問終結シタル期日又ハ其ノ期日ヨリ十四日以内之ヲ言渡スヘシ
 一行政裁判所ノ總會ハ評定官總員ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス
 總會ノ決議ハ出席評定官ノ過半數ニ依ル可
 否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
 長官ハ總會ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス
 前二項ノ場合ニ於テハ第五條第一項ノ規定ヲ準用ス
 一合議ノ際各評定官意見ヲ述フルノ順序ハ官等ノ最低者ヲ始トシ裁判長ヲ終トス官等同シキトキハ年少者ヲ始トシ專理ヲ命シタル事件ニ付テハ專理評定官ヲ始トス
 一評定官ハ決議スヘキ問題ニ付自己ノ意見ヲ表スルコトヲ拒ムコトヲ得ス
 一法規ノ解釋ヲ一定シ又ハ判例ヲ變更スル必要アリト認ムルトキハ長官之ヲ總會ノ議ニ付ス
 一行政裁判所ハ其ノ職權ニ屬スル事項ニ付告示ヲ發スルコトヲ得
 一本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ長官之ヲ定ム

長官

岡野敬次郎

從三、勳一、法學博士、本籍、海島、天師、一七〇

評定官

文官普通試驗委員 邊 廉吉
 長官普通懲戒委員 渡 廉吉
 員從三、勳一、法學博士 小開口、登、三五

部長

木場 貞長

文官普通懲戒委員 木場 貞長
 員正四、勳二、法學博士 櫻多、千、谷、大字、原、二〇、九

一等一級

窪田 靜太郎

文官普通試驗委員 窪田 靜太郎
 員正四、勳二、法學博士 赤雲、南、政、一九

二等二級

清水 澄

文官普通試驗委員 清水 澄
 員從四、勳三、法學博士 四、受、住、六、三

二等二級

關口 健一郎

正五、勳四、島 鐵吉
 牛、市、谷、加、賀、二、二、七

二等二級

宅 德業

正五、勳四、二 宅 德業
 櫻、多、瀨、谷、大、字、寄、山、北、七、一

二等二級

村他 三郎

正五、勳四、島 村他 三郎
 北、豐、高、田、大、字、高、田、字、大、原、一、五、一

二等二級

鐵吉

二等一級

正五、勳四、宿利 英治

二等一級

法制局參事官馬場 鐵一

二等一級

內閣統計局長牛塚 虎太郎

二等三級

正五、勳四、法學博士 遠 源六

二等三級

法制局參事官松村 眞一郎

二等三級

從六、勳六、岩 田 匡彦

二等三級

從六、勳六、岩 田 匡彦

書記

山名 恭三

四

高田 春作

八

信夫 周次郎

八

三雄

八

茂雄

文官普通懲戒委員 會書記 小谷 三雄
 文官普通懲戒委員 會書記 信夫 周次郎
 文官普通懲戒委員 會書記 茂雄

行政裁判所

一三三三七

官房主事

高等課長統計主任 任官報告主任 大島 直道

警視

特別高等課長文官普通試驗委員 川淵 洽馬

警部

二 警部 大松井吉太郎 四 從七、勳八長谷川守三

技手

警務部 警務二課スル事項 一、警務二課スル事項

警視

第一方面擔當從七長谷 正成

警部

竹内 仁作 七 勳七兒玉勝一郎

警務部

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)

警部

松井吉太郎 (兼) 新藤 銀藏 長谷川守三 (兼) 五 從七、勳七森住 政憲

保安部

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)

保安部

一、建築警察、風俗警察及危險物取締等二課スル事項

理事官

工務監督官 宮本貞三郎

技師

西崎弘太郎

警部

七等七級 工場監督官 鈴木 孔三

衛生部

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)

警視廳

一部長ハ警視總監ノ命ヲ承ケ所部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス
消防部長ハ消防事務ノ執行ニ關シ警視總監ノ命ヲ承ケ消防署長以下ヲ指揮監督ス

消防部長

文官普通試験委員
文官普通試験事務方惟一郎
委員 佐藤六郎

消防司令

庶務課長 正七、勳大 額賀仙太郎

消防士

七 勳七馬場由五郎 十 橋本龍一郎

消防機關士

七 勳八志田 紋太 十 清水 正之

警察練習所

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)
一 警視廳ニ警察練習所ヲ置ク
警察練習所ハ警察ニ従事スル職員ノ教習及訓練ニ關スル事項ヲ掌ル

一 警察練習所長ハ警務部長ヲ以テ之ニ充ツ上ノ官ノ命ヲ承ケ其ノ主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス

所長

警務部長 野口 淳吉

警部

三月三十一日 勳八 江口 治 九 勳八 村山 桂哉

警部補

三月二十九日 勳八 西中 間末太郎 杉本 政夫

消防練習所

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)
一 警視廳ニ消防練習所ヲ置ク
消防練習所ハ消防ニ従事スル職員ノ教習及訓練ニ關スル事項ヲ掌ル

所長

消防部長 緒方惟一郎

消防士

(兼) 馬場由五郎

消防機關士

(兼) 志田 紋太

警察署

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)
一 東京府下ニ四十九警察署ヲ置ク其ノ管轄區域ハ内務大臣之ヲ定ム
警視總監必要アリト認ムルトキハ警察署ノ下ニ警察分署ヲ置クコトヲ得

一 警察署長ハ警視又ハ警部、警察分署長ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ但シ警察分署長ハ警部補ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
警察署長及警察分署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス

警察署及管轄區域表

Table with columns for 署名 (Station Name), 管轄區域 (Jurisdiction Area), and 職名 (Position Name). Lists various police stations and their respective areas and officers.

Main table listing police stations (警察署) and their jurisdiction areas (管轄區域) across various districts like 日本橋區, 芝區, 墨田區, etc.

警視廳

警視廳

Table of police districts and stations on the right page, including sections for 小石川、牛久保、赤坂、品川, and various police stations like 麹町區、目黒區、世田谷區.

警視廳

Table of police districts and stations on the left page, including sections for 本所、品川、品川、品川, and various police stations like 麹町區、目黒區、世田谷區.

警視廳

一三四八

○神田西神田警察署 神田區中糎樂町
警視 七等十級 署長 正八 高橋 義信
警部 九 立山 合戰
警部補 北島 國助 (月二五) 新納 七太郎 (月二四) 山本 重造

○神田外神田警察署 神田區仲町二丁目
警視 七等十級 署長 正八 柳田 清一
警部 九 橋本 辰彌
警部補 小坂 覺四郎 (月二六) 勳七 會田 謙四郎 (月二六) 森山 徳十 (月二五)

○日本橋久松警察署 日本橋區久松町
警視 五等四級 署長 正六 勳五 橋爪 慎吾
警部 九 酒井 伊太夫
警部補 三浦 良一 (月二八) 勳八 藤井 繁次郎 (月二八) 山田 文次郎 (月二二) 大河原 重範 (月二二)

○日本橋堀留警察署 日本橋區西萬河岸
警視 五等七級 署長 從六 對島 郁之進
警部 九 沼本 義雄 (月二七) 勳八 川島 早司 (月二〇) 宮本 清

○日本橋新場橋警察署 日本橋區本村河岸
警視 六等十級 署長 正七 竹上 六三郎
警部 九 永田 純孝
警部補 相良 豐藏 (月二七) 丸茂 利策 (月二二) 峰島 利平 (月二二)

○京橋築地警察署 京橋區築地一丁目
警視 五等四級 署長 從五 勳四 野田 耕夫
警部 九 古賀 八百一
警部補 勳八 藤原 鐵太郎 (月三二) 渡部 源治 (月二四) 金野 重治郎 (月二四) 村松 靖一 (月三三) 勳八 林 市郎 (月二〇) 森山 盛市

○京橋北紺屋警察署 京橋區北紺屋町
警視 六等十級 署長 從七 石 井 保
警部 七 川崎 則之
警部補 瀨戶 口 操 (月二四) 鷹居 寛 (月二五) 宮本 晃 (月三三)

○京橋月島警察署 京橋區新佃島東町一丁目
警視 七等十一級 署長 正八 勳七 鷺見 公明
警部 九 和泉 庸雄 (月二二) 鷗殿 尙 (月二八)

○芝愛宕警察署 芝區愛宕町三丁目
警視 五等六級 署長 正六 勳五 矢野 元三郎
警部 九 小松 清之助 (八) 正八 塚利 三郎 (月三二) 吉田 安吉 (月二八) 勳八 若松 貞助 (月二八) 田上 兼吉 (月二四) 石賀 重雄 (月三二) 田中 松兵衛

○芝三田警察署 芝區赤羽町
警視 七等十一級 署長 從七 勳六 渡邊 鉦三郎
警部 九 芝 三田 四郎 (月二六)

警視廳

一三四九

○赤坂表町警察署 赤坂區表町三丁目
警視 五等七級 署長 從六 勳六 福島 俊作
警部 八 赤坂 三三三 (月三三) 勳七 秋野 谷信順 (月二六) 中村 義正 (月三〇) 勳七 加茂 太五郎 (月二六) 前田 善之助

○赤坂青山警察署 赤坂區青山南町五丁目
警視 五等八級 署長 從六 勳六 大江 種 榮史
警部 九 赤坂 區 青山 南町 五丁目

○四谷警察署 四谷區左門町
警視 六等九級 署長 正七 勳六 多賀 谷 岩次郎
警部 九 四谷 區 左門 町 長田 道之助 (月二九) 田中 米治 (月二八) 勳七 松原 傳之輔 (月二二) 田村 兵吾 (月三三)

○牛込神樂坂警察署 牛込區神樂町一丁目
警視 六等九級 署長 正七 正力 松太郎
警部 九 牛込 區 神樂 町 一丁目 田上 小一郎 (月三三)

○小石川富坂警察署 小石川區表町
警視 五等七級 署長 從六 水上 七郎
警部 九 小石川 區 表町 小石川 富坂 二六 勳七 功七 大迫 壯太郎 (月二九) 角田 長藏 (月二〇) 桑原 九平 (月二四) 小川 懷光 (月二五)

○小石川大塚警察署 小石川區音羽町三丁目
警視 七等十級 署長 從七 立川 太郎
警部 九 小石川 區 音羽 町 三丁目 小石川 大塚 五七 古谷 丑之助 (月二九) 勳八 佐野 與一 (月二四) 勳八 前田 善平 (月二九)

○芝高輪警察署 芝區二本榎二丁目
警視 六等九級 署長 正七 勳六 山下 謙吉
警部 九 芝 區 二 本 榎 二 丁 目 矢口 定吉 (月二八) 橋本 庄之助 (月二七) 市丸 熊藏 (月二四)

○麻布島居坂警察署 麻布區永坂町
警視 六等十級 署長 從七 勳七 蘭部 久五郎
警部 九 麻布 區 永 坂 町 田口 吉次郎 (月三三) 麻布 區 七

○麻布六本木警察署 麻布區材木町
警視 五等七級 署長 從六 勳六 古 市 亨
警部 九 麻布 區 材 木 町 麻布 區 七 (月二八) 五味 田 秀 (月二六) 宇都 喜 之 助 (月二八)

○芝高輪警察署 芝區二本榎二丁目
警視 六等九級 署長 正七 勳六 山下 謙吉
警部 九 芝 區 二 本 榎 二 丁 目 矢口 定吉 (月二八) 橋本 庄之助 (月二七) 市丸 熊藏 (月二四)

○赤坂表町警察署 赤坂區表町三丁目
警視 五等七級 署長 從六 勳六 福島 俊作
警部 八 赤坂 區 表 町 三 丁 目 赤坂 三三三 (月三三) 勳七 秋野 谷信順 (月二六) 中村 義正 (月三〇) 勳七 加茂 太五郎 (月二六) 前田 善之助

○赤坂青山警察署 赤坂區青山南町五丁目
警視 五等八級 署長 從六 勳六 大江 種 榮史
警部 九 赤坂 區 青 山 南 町 五 丁 目

○四谷警察署 四谷區左門町
警視 六等九級 署長 正七 勳六 多賀 谷 岩次郎
警部 九 四谷 區 左 門 町 長田 道之助 (月二九) 田中 米治 (月二八) 勳七 松原 傳之輔 (月二二) 田村 兵吾 (月三三)

○牛込神樂坂警察署 牛込區神樂町一丁目
警視 六等九級 署長 正七 正力 松太郎
警部 九 牛込 區 神 樂 町 一 丁 目 田上 小一郎 (月三三)

○小石川富坂警察署 小石川區表町
警視 五等七級 署長 從六 水上 七郎
警部 九 小石川 區 表 町 小石川 富坂 二六 勳七 功七 大迫 壯太郎 (月二九) 角田 長藏 (月二〇) 桑原 九平 (月二四) 小川 懷光 (月二五)

○小石川大塚警察署 小石川區音羽町三丁目
警視 七等十級 署長 從七 立川 太郎
警部 九 小石川 區 音 羽 町 三 丁 目 小石川 大塚 五七 古谷 丑之助 (月二九) 勳八 佐野 與一 (月二四) 勳八 前田 善平 (月二九)

警視廳

一三五二

○板橋警察署王子分署 北區王子町大字王子
警部七 分署長 戸田 長作

○千住警察署 南足立郡千住町
大字千住一丁目
警部五 署長 新納 軍吉

○千住警察署南千住分署 北區南千住町大字千住南
分署長 正八小松 巳生

○小松川警察署 南葛飾郡小松川町
警部七 署長 山内 秀一

○八王子警察署 南多摩郡八王子町
大字本町
警視 大等九級 正七、勳六千田 貞治

○青梅警察署 西多摩郡青梅町
大字青梅
警部四 署長 久源 熊

○小笠原島在勤 警部六 山田 八二

○伊豆國八丈島在勤 警部六 正八、勳八川畑 總二

○伊豆國新島在勤 警部七 正八、勳八梶尾 保民

○伊豆國大島在勤 警部七 柏倉 謙藏

東京府大島郡御書館笹原 衆吉

警視廳官制 大正二年六月勅(抄)
一 東京府下ニ六消防署ヲ置ク
警視廳監必要アリト認ムルトキハ消防署ノ
下ニ消防分署ヲ置クコトヲ得
一 消防署長ハ消防司令又ハ消防士、消防分署
長ハ消防士又ハ消防機關士ヲ以テ之ニ充ツ
消防署長及消防分署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ
其ノ主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮
監督ス
一 消防士ハ上官ノ指揮ヲ承ケ消防事務ニ從事
シ部下ノ消防手ヲ指揮監督ス
一 消防機關士ハ上官ノ指揮ヲ承ケ消防機關ノ
運用ニ從事ス

一 警視廳官制ノ規定ニ依リ消防司令ヲ以テ消
防署長ニ充ツル消防署左ノ通之ヲ指定ス 正大
三年十一月內務省
告示第六十九號
第五消防署

○第一消防署 日本橋區坂本町
消防司令 大等十級 正七、勳六河田 莊太郎

消防士 原田 悦藏 十 和田 直志

消防機關士 月三三 勳八高橋春太郎

○第二消防署 芝區愛宕町三丁目
署長 七 伊藤源三郎

消防機關士 月二八 藤田惣三郎

○第三消防署 麩町區麩町十丁目
署長 七 從七、勳小泉壽之助

消防機關士 八 勳七、功大滝津 新藏

○第四消防署 本郷區本富士町
署長 五 從七、勳七谷口 直忠

消防機關士 八 正八、勳八市村左源太

○第五消防署 下谷區北稻荷町
署長 從七前田 豐彦

消防司令 七等十一級 從七前田 豐彦

○第六消防署 深川區東森下町
署長 五 從七、勳八岩佐 義一

消防機關士 九 勳七平山東一 郎

消防士 七 正八、勳八里吉久次郎 十 割田國次郎

消防機關士 十 川口七兵衛

警視廳

一三五三

○貴族院事務局

麹町區内幸町

議院法 明治二十二年二月二號(抄)

- 一 貴族院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク
 - 一 書記官長ハ勅任トシ書記官ハ委任トス
 - 一 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ提理シ公文ニ署名ス
 - 一 書記官ハ議事録及其ノ他ノ文書案ヲ作り事務ヲ掌理ス
 - 一 書記官ノ外他ノ必要ナル職員中判任官以下ハ書記官長之ヲ任ス
- 貴族院事務局官制 明治二十三年七月(抄)
- 一 貴族院事務局ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 一 書記官長 專任 一人
 - 一 書記官 專任 三人
 - 一 守衛長 專任 一人
 - 一 速記技手 專任 十八人
 - 一 守衛副長 專任 一人
 - 一 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ局中一切ノ事務ヲ監督ス
 - 一 局中ノ分課及職員ノ配置ハ書記官長之ヲ定ム
 - 一 書記官ハ書記官長ノ指揮監督ヲ承ケ議事記録筆記印刷庶務會計警務等ニ關スル事務ヲ分掌ス
 - 一 書記官長故障アルトキハ上席書記官其ノ職務ヲ代理ス

貴族院事務局

一 守衛長ハ委任トス上官ノ指揮監督ヲ承ケ守衛副長以下ヲ部署シ警務ヲ掌ル

一 一關及速記技手ハ判任トス書記官長ノ定ムル所ニ依リ各其ノ事務ニ従フ

一 守衛副長ハ判任トス守衛長ヲ助ケ守衛ヲ指揮シ守衛長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

一 貴族院事務局ニ屬定員以內ニ於テ技手二人ヲ置クコトヲ得 明治三十年十一月 勅令第四百十三號

書記官長 正五、勳三 柳田 國男

書記官 三等一級 庶務課長兼議事課長 宮田 光雄

書記官 三等一級 委員 河井 彌八

書記官 六等七級 委員 成 瀨 達

守衛長 八等十級 正八 柴田 正光

屬 試補 委員 長谷川 起夫

速記技手

一 官報報告 中村 喜信

二 主任勳七 健夫

三 主任勳七 花房崎太郎

四 主任勳七 梅田伊三郎

五 主任勳七 矢野勝太郎

六 主任勳七 伊藤新太郎

七 主任勳七 小宮八十二

八 主任勳七 小倉 惠

九 主任勳七 川守田武一

十 主任勳七 宮澤 彦七

十一 主任勳七 山口金太郎

十二 主任勳七 小倉 惠

十三 主任勳七 川守田武一

十四 主任勳七 宮澤 彦七

十五 主任勳七 山口金太郎

十六 主任勳七 小倉 惠

十七 主任勳七 川守田武一

十八 主任勳七 宮澤 彦七

十九 主任勳七 山口金太郎

二十 主任勳七 小倉 惠

守衛副長 正七、勳七 伊藤新太郎

○行政裁判所長官評定
官懲戒裁判所

麴町區永田町樞密院事務局内

行政裁判所長官評定官懲戒令三明治
三十七年七月勅令第
三百五十四號(抄)

一懲戒裁判所ニ裁判長一人裁判官六人豫備裁
判官六人ヲ置ク
裁判長ハ文官高等懲戒委員長、裁判官ハ文
官高等懲戒委員、豫備裁判官ハ文官高等懲
戒豫備委員ヲ以テ之ニ充ツ
一懲戒裁判所ニ檢察官一人ヲ置ク
檢察官ハ勅任檢察官ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ
奏請ニ依リ之ヲ命ス
一懲戒裁判所ニ書記五人ヲ置キ内三人ハ文官
高等懲戒委員會書記ヲ以テ之ニ充テ二人ハ
大審院書記ノ中ヨリ裁判長之ヲ命ス

裁判長 樞密顧問官 蜂須賀茂韶
裁判官

行政裁判所長官法學博士 岡野敬次郎
法制局長官 有松 英義
行政裁判所評定官法學博士 窪田靜太郎
判事 大倉 鈕藏
大藏次官 市來 乙彦
内務次官法學博士 水野鍊太郎
豫備裁判官 農商務次官 上山滿之進

文部次官 田所 美治
外務次官 幣原 喜重郎
逓信次官 内田 嘉吉
判事 磯谷 幸次郎
行政裁判所評定官 關口 健一郎
檢察官 檢事 法學博士 平沼 騏一郎

書記 裁判所書記 成瀬 邑雄
樞密院書記 小林 榮吉
樞密院書記 野田 松次郎
樞密院書記 北川 銓總
樞密院書記 伊藤 榮

行政裁判所長官評定官懲戒裁判所

高等捕獲審檢所及捕獲審檢所

捕獲審檢令 明治二十七年八月(抄)

第一章 組織及職權

第一條 捕獲事件ハ第一次ニ於テ捕獲審檢所第二次ニ於テ高等捕獲審檢所ニテ檢定ス

第二條 各捕獲審檢所ニ長官一人及評定官八人ヲ置ク

長官ハ勅任判事ヲ以テ之ニ補ス
評定官ハ左ノ各號ニ掲ケタル者ヨリ之ニ補ス

一 判事

二 海軍將校

三 海軍省參事官及主理

四 法制局參事官

五 外務省參事官、外務書記官、外交官及領事官

第三條 高等捕獲審檢所ニ長官一人及評定官十人ヲ置ク

長官ハ樞密顧問官ヲ以テ之ニ補ス
評定官ノ中一人ハ樞密顧問官、二人ハ海軍將官、三人ハ大審院ノ判事、一人ハ法制局長官、一人ハ外務省政務局長、二人ハ其ノ他ノ高等行政官ヲ以テ之ニ補ス

第四條 捕獲審檢所長官及高等捕獲審檢所長官ハ各其ノ審檢所ノ事務ヲ總理シ自ラ審檢ノ首席トナリ故障アルトキハ各其ノ審檢所ノ評定官ニ首席ヲ命スルコトヲ得

高等捕獲審檢所 佐世保捕獲審檢所

第五條 各捕獲審檢所ニ檢察官三人、高等捕獲審檢所ニ檢察官二人ヲ置ク

檢察官ハ主理、檢事及高等行政官ノ中ヨリ之ニ補ス

第五條ノ二 高等捕獲審檢所ニ專任事務官二人ヲ置ク

事務官ハ奏任トシ其ノ官等及俸給ハ各省書記官ノ例ニ依ル

第六條 捕獲審檢所及高等捕獲審檢所ノ長官評定官及檢察官ハ内閣總理大臣ノ上奏ニ依リ之ニ補ス

第七條 各捕獲審檢所及高等捕獲審檢所ニ書記ヲ置ク

書記ハ判任官ノ中又ハ其ノ他ヨリ各長官之ヲ命ス

第八條 各捕獲審檢所ノ審檢ハ首席及評定官ヲ併セテ五人以上ノ列席合議ヲ要ス但内二人ハ判事ヨリ補セラレタル者タルヘシ

第九條 捕獲審檢所ノ審檢ハ首席及評定官ヲ併セテ七人以上ノ列席合議ヲ要ス

第十條 捕獲審檢所及高等捕獲審檢所ノ開閉ハ臨時勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 捕獲審檢所ハ之ヲ東京ニ置ク捕獲審檢所ノ位置ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二章 捕獲審檢手續

第十條 拿捕ヲ行ヒタル艦船ノ指揮官ハ拿捕シタル船舶ヲ捕獲審檢所所在ノ港内ニ引致シ又ハ代理士官ヲ其ノ船内ニ乗込マシメ同港ニ回港ヲ命シ到達ノ上供述書ヲ添ヘ之ヲ審檢所ニ引渡スヘシ但其ノ船舶ヲ引致シ難キ事由アルトキハ供述書ノミヲ提出スルコトヲ得

供述書ニハ拿捕ヲ行ヒタル理由竝ニ其ノ行

爲ノ正當ナルラ證スヘキ一切ノ事實ヲ記載シ之ニ拿捕シタル船舶ノ船長若クハ海員ヨリ受取リ又ハ其ノ船内ニ於テ發見シタル一切ノ帳簿及書類ヲ添附スヘシ

第十一條 捕獲審檢所長官第十條ノ供述書ヲ受取リタルトキハ其ノ事件ニ付キ評定官ノ一名ヲ指名シテ擔任評定官トスヘシ

擔任評定官ハ直ニ指揮官又ハ代理士官竝ニ拿捕セラレタル船舶ノ船長ノ面前ニ以テ提出書類ヲ開封シ其ノ目錄ヲ調製スヘシ

擔任評定官前項ノ手續ヲ了ヘタルトキハ拿捕シタル船舶及其ノ搭載物件ヲ臨檢シテ船長ヲ立會ハシメ詳細ナル物件目錄ヲ調製スヘシ

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ前項ニ依ラサルコトヲ得

第十二條 擔任評定官ハ拿捕セラレタル船舶ノ船長及海員ノ申供ヲ聽取リ又必要ト認ムルトキハ拿捕ヲ行ヒタル艦船ノ乗員竝ニ拿捕セラレタル船舶ノ乗客ノ申供ヲ聽取リ書記ヲシテ筆記セシムヘシ

第十三條 擔任評定官必要アリト認ムルトキハ鑑定人ヲ命ジ事項ヲ指定シテ之ヲ鑑定セシムルコトヲ得

第十四條 擔任評定官拿捕ノ全部若クハ一部ヲ捕獲トスヘキカ又ハ解放トスヘキカヲ檢定スルニ必要ト認ムル事實ヲ調査ラシメタルトキハ其ノ調査書ヲ作り之ニ第十條ノ供述書及其ノ附屬書類ヲ添ヘ捕獲審檢所檢察官ニ送付スヘシ

第十五條 檢察官ハ檢定ニ屬スル意見書ヲ作り其ノ送付ヲ受ケタル一切ノ書類ヲ添ヘ捕獲審檢所ニ提出スヘシ

高等捕獲審檢所 佐世保捕獲審檢所

一三二六六

檢察官意見書ヲ作ル爲ニ必要トスルトキハ... 第十五條 檢察官ノ意見書ニ於テ...

訴願人ハ帝國ノ辯護士ニ限り之ヲ代理人ト... 第十七條ノ二 訴願人又ハ其ノ代理人...

第二十三條 抗議ハ抗議書ヲ捕獲審檢所ニ提... 第二十四條ノ二 捕獲審檢所ハ方式ニ違ヒ又...

第二十六條ノ二 捕獲審檢所及高等捕獲審檢... 第二十七條 高等捕獲審檢所ノ審檢ノ手續...

○高等捕獲審檢所 長官 樞密顧問官文學博士 細川潤次郎... 佐世保捕獲審檢所 長官 判事手塚 太郎...

判事馬場 愿治 判事鶴田 丈一郎 判事横田 秀雄... 判事乾山 孚志 判事山口 九十郎...

高等捕獲審檢所 佐世保捕獲審檢所

一三二六七

564-89

高等捕獲審檢所 佐世保捕獲審檢所

一三六八



